

### 担当業務の内容

私は、福島県相馬市と稲城市が平成23年6月1日に締結した災害時等相互応援協定に基づき、平成28年4月1日～平成29年3月31日までの一年間、復旧・復興のため技術職員として支援に行っていました。主な担当支援内容は以下のとおりです。

1. 緊急避難道路整備（市道491・501号線避難道路、市道金草線避難道路）
2. 除染土砂仮置場設置
3. その他緊急作業に伴う作業等

### 苦勞したこと・工夫したこと

1年間での相馬市役所の人の把握、土木課仕事内容把握や他課の繋がりや現場・地権者把握などなどプロパー職員に絶えず聞きながら、ベテラン職員で新人のように業務を行うことへの苦慮。

また、図面作成ソフトのCAD（キャド）を理解及び使用するのに苦勞しました。理解をしても機能、操作の把握などは使用するうちに何となくは分かるのですが、完全な使いこなすまではできませんでした。それでも見様見真似で設計図を作ったことは良い経験になったと感じます。

また、2年間ほど積み重なった変更項目の整理や業者調整、積算（金額）調整などに苦勞しました。

工夫したことは、現場代理人との信頼関係を築く努力をしました。まめに現場に出向き、指示・指導することはする、わからないこと、できることとできないこと、どうすればやってもらえるのか、変更対応の有無など腹を割って話したつもりです。

### 印象的なエピソード

周辺では土取り（山を切り開き、土砂を搬出入している）が行われており、復興のため土砂が必要であり、山が切り開かれて土砂が運搬され、その運搬頻度と10トントラック数十台が一般道路を往来することによる近隣への交通支障問題、粉じん、振動、騒音が発生。苦情対応に苦慮し、2次的影響が多大にあることを感じ、印象的でした。

また、10月に相馬市役所新庁舎が完成し、職員での引っ越しをお手伝いさせていただき、さらに、2度と体験できないであろう、「新庁舎」での職場環境はすばらしく快適でした。

### 所感

1年を通じ、仕事は日々の実務を何とか熟していくことで一杯でしたが、相馬市職員に大分助けられ、根気強く派遣職員に指導していただき、逆に感謝しております。

ここで出来た友人・仲間は、貴重であり、何かのご縁があったのだと思っています。



【相馬市新庁舎】